

平成19年6月26日

平成19年学習支援事業（訪問講座）に関する報告

日 時 平成19年5月10日（木）13:00～15:00
場 所 岩手県立県民生活センター
講演者 (社)全国消費生活相談員協会常任理事 菅 美千世
参加人員 35名

1 講演内容の概要について

演題「身近な場における安全・安心を考える」

- ・ 社告がでるごとに消費者は確認する必要がある。
- ・ 使う前に取扱説明書を読むこと。電気製品は発火する危険があることを認識する。
- ・ 高齢者が狙われている。だまされたことに気づかない。だまされたことを話さない。
- ・ だまされたことを認識しても、また契約してしまう。障害者も狙われやすい。
- ・ ク・オフは業者のハガキを使わず、センター独自の内容で出させている。消費者のうしろにセンターがいることを業者に感じさせるため。
- ・ 1年間のカレンダーつきポスターを作成・配布し、玄関からよく見える場所に掲出するよう消費者を指導している。訪販の業者が来たら口を利かずにポスターを指差し、撃退する。

2 受講者からの質問と回答（主なもの）について

特になし

岩手県立県民生活センター 相談指導・商品テストグループ

（注）この報告書は、事務担当者が作成したものであり、内閣府国民生活局の正式な見解ではありません。